

国際人権法学会

第35回（2023年度）研究大会プログラム

日時：2023年11月18日（土）・19日（日）

会場：西南学院大学「西南コミュニティセンター」
（福岡市地下鉄空港線西新駅7番・8番出口より徒歩3分）

開催校幹事：根岸陽太（西南学院大学法学部准教授）

[テーマ]

国際人権法学の方法論と学際性

[企画趣旨]

「国際人権法学」を掲げる本学会の2023年度研究大会では、「人権」を根底的に問い直した昨年につき、「法学」の在り方を再考する。人権にアプローチする学問上の方法については、条文解釈や判例分析などの法学技術に限らず、歴史・思想、他の人文社会科学、さらには自然科学からも広く知見や技法を学べる場合が少なくない。実際、近年では人権研究の方法論に関する出版が相次ぐなど、国内外で国際人権研究の方法が多様化する潮流も見られ、訴訟実務においても、法学の専門家の意見書に加え、他分野の専門家の知見が裁判官の説得に用いられることも珍しくない。そこで、「世界の人権秩序の形成も、真に学際的研究によってこそ、その基盤が整えられる」という本学会の設立趣意書の精神を想起し、今大会を、国際人権法学の分野横断的研究の可能性を拓くと同時に、他分野との比較を通じ法学の独自性を再認識するためのものにした。

第1日 (11月18日 (土))

受付開始：09:30 会場：西南コミュニティセンター

◆ 午前の部 (10:00～11:45)

- 1) 理事長挨拶 (10:00～10:05) 山元一 (理事長・慶應義塾大学)
- 2) 企画趣旨説明 (10:05～10:10) 南野森 (企画委員会主任・九州大学)
- 3) シンポジウム (10:15～11:45) 司会： 館田晶子 (北海学園大学)
楠 晋一 (大阪弁護士会)

「『考えてみよう 先住民族と法』にみる学際的研究の可能性と課題」

登壇者： 小坂田裕子「国際人権法学」(中央大学法科大学院教授)

深山直子「国際人権法学×社会人類学」(東京都立大学人文社会学部准教授)

丸山淳子「国際人権法学×文化人類学」(津田塾大学学芸学部教授)

遠井朗子「国際人権法学×環境法学」(酪農学園大学環境共生学類教授)

◇ 昼休み (11:45～13:45) ※休憩室：会議室 (2F)

◇ 理事会 (11:55～13:35) 会場：1階多目的室1～3

◆ 午後の部 (13:45～17:40)

- 4) 個別報告 (13:50～16:15) 司会： 伊藤和子 (東京弁護士会)
高山佳奈子 (京都大学)

① 木山幸輔 (筑波大学人文社会系助教) (13:50～14:20)

「国際人権に関する哲学の捉え方に関する、人権の哲学研究からの一考察：国際人権実践、国際法的人権、道徳的人権」

② 小宮理奈 (東京都立大学大学院博士課程) (14:20～14:50)

「人権法学と人類学の視点——コンゴ難民を例に協働可能性を探る」

<10分休憩 (14:50-15:00)>

③ 高村ゆかり (東京大学未来ビジョン研究センター教授) (15:00～15:30)

「環境学から考える国際人権法」(仮題)

④ 木村光豪 (関西大学非常勤講師) (15:30～16:00) 【公募報告】

「人権社会学の視点から見た国際人権法の研究」

⑤ 質疑応答 (パネルディスカッション) (16:00～16:40)

<10分休憩 (16:40-16:50)>

- 5) 基調講演 (オンライン) (16:50~17:40) 司会：吉田暁永 (早稲田大学)
Professor Bård A. Andreassen (Norwegian Centre for Human Rights, Director)
“The quest for methodological awareness and rigor in human rights research :
trends and challenges”

◇ 総会 (17:50~18:30)

◇ 懇親会 (18:45~20:45) 会場：西南クロスプラザ

第2日 (11月19日 (日))

受付開始：09:00 会場：西南コミュニティセンター

◆ 午前の部 (09:30~12:00)

6) 裁判例研究 司会：鈴木雅子 (東京弁護士会)
松田浩道 (国際基督教大学)

① 国内判例：名古屋高裁 2022 年 11 月 15 日判決 (旧警備業法欠格条項が違憲であり、
障害者権利条約批准に言及して立法不作為の違法性が大きいとして国家賠償を命じた判
決) (09:30~10:45)

報告者：熊田憲一郎 (愛知県弁護士会)
川島 聡 (放送大学教授)

② 海外判例：韓国憲法裁判所 2023 年 3 月 23 日決定 (出入国管理法 63 条 1 項憲法不合
致決定) (10:45~12:00)

※参照素材：台湾司法院积字第七〇八号解釈 (行政收容憲法不合致決定)

報告者：申 鉉^{シン ヒョンオ} 旻 (立命館大学国際地域研究所客員協力研究員)
難波 満 (東京弁護士会)

◇ 昼休み (12:00~14:00) > ※休憩室：会議室 (2F)

◇ インタレストグループ報告会 (12:15~13:45)

- ① ICC インタレストグループ (代表者：竹村仁美) (3号館 302 教室)
- ② 多層的人権保障システム研究グループ (代表者：小畑 郁) (3号館 303 教室)
- ③ フェミニズム国際法インタレストグループ (代表者：近江美保) (3号館 304 教室)

◇ 若手人権問題研究会 (12:15~13:45) ※会場：TBA

◆ 午後の部（14:00～16:45）

7) 国際交流委員会公募企画・特別報告（14:00～14:50） 司会：安藤由香里（大阪大学）
Professor Vasilka Sancin (University of Ljubljana)

“UN Human Rights Committee's Monitoring Function: A Perspective From Within”

<10分休憩（14:50-15:00）>

8) 外務省人権人道課による講演（15:00～15:40） 司会：南野 森（九州大学）
高澤令則（外務省総合外交政策局人権人道課長）

9) 国際人権法の現場から（15:45～16:45） 司会：小川隆太郎（東京弁護士会）
谷口真由美（佐賀女子短期大学）

- ① 藤田早苗（エセックス大学人権センターフェロー）
「アカデミック・アクティビストと国連などへの影響；特別手続きへの働きかけを中心に」
- ② 菅原絵美（大阪経済法科大学国際学部教授）
「国連からの眼差し——人権理事会〈ビジネスと人権〉作業部会の動きを通じて」

[会場アクセス]



地下鉄空港線 西新駅3番出口より徒歩5分